

議題(1)

令和3年度事業報告

令和4年7月21日
松戸市 街づくり部 交通政策課

(1) コミュニティバス中和倉コースの状況について

① 新型コロナウイルス感染症発生後の利用状況の変化

(令和2年度)

- 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴う外出自粛の影響により、令和2年2月以降、利用者数、収入が大きく減少している。その結果、**令和2年度の収支率は、運行継続基準として設定する「収支率40%」に満たない**状況であった。(令和2年度収支率: 36.1%)
- 本来であれば、運行内容の改善や廃止に向けた検討を行う状況であったものの、外出自粛等のため、積極的な利用促進が困難な状況であったことを踏まえ、**令和2年度の収支率については、「特殊な実績値」として扱い、運行を継続**することとした。

(第11回松戸市みんなが元気になる公共交通の検討会議(令和3年5月21日開催)議決事項)

(令和3年度)

- 千葉県は、令和3年8月2日～9月12日に緊急事態宣言、令和3年4月20日～8月1日、及び令和4年1月21日～3月21日はまん延防止等重点措置の対象地域となっていた。
- 令和4年1月以降はオミクロン株の流行により、感染者数が急増し、**1月から3月にかけて利用者数は減少傾向**であった。
- 一方で、全体としての利用者数及び運賃収入は令和2年度よりも増加し、**収支率は41.5%**と運行継続基準の40%を上回ったため、令和4年度も現行通り運行を継続。

② 中和倉コースのルート変更

- 「⑬仲台公園バス停」から「⑭北松戸駅バス停」に向かう区間は道路幅が狭いため、対向車・後続車との軽い接触事故が続いていた。そこで安全な運行継続をしていくためにルート変更を行い、令和4年4月から新ルートで運行している。

(第12回松戸市みんなが元気になる公共交通の検討会議(令和3年12月書面開催)議決事項)

- ルート変更に伴い、「⑬仲台公園」バス停を廃止し、新ルート上に「⑭北松戸駅前通りバス停」を設置した。

(2) コミュニティバス導入検討の開始について

- ① 令和4年3月15日 三ヶ月・八ヶ崎地区からコミュニティバス検討組織届出書を受け、導入検討を開始。

- ② 令和4年3月22日 高塚新田地区からコミュニティバス検討組織届出書を受け、導入検討を開始。

(資料2の2ページ参照)